

令和3年度「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」活動報告（概要）

意外な大盛況で始まつた!! 【南宮大社駐車場に観光案内所開設】

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」事務局

4月3日、関係来賓の参加を頂き垂井町観光協会、宮代観光案内所が開設した。開設に合わせ年1回だけ公開していた南宮大社の宝物殿も、定期的な見学が可能となった。

運営担当の我々は、これから展開をあらためて期した日であったが、時期と天候に恵まれ、開所早々からたくさんの訪問者が立ち寄って下されたのである。

ほとんどの人は南宮大社を普通に訪ねた人であって、南宮大社の知名度、重要度を改めて認識した。

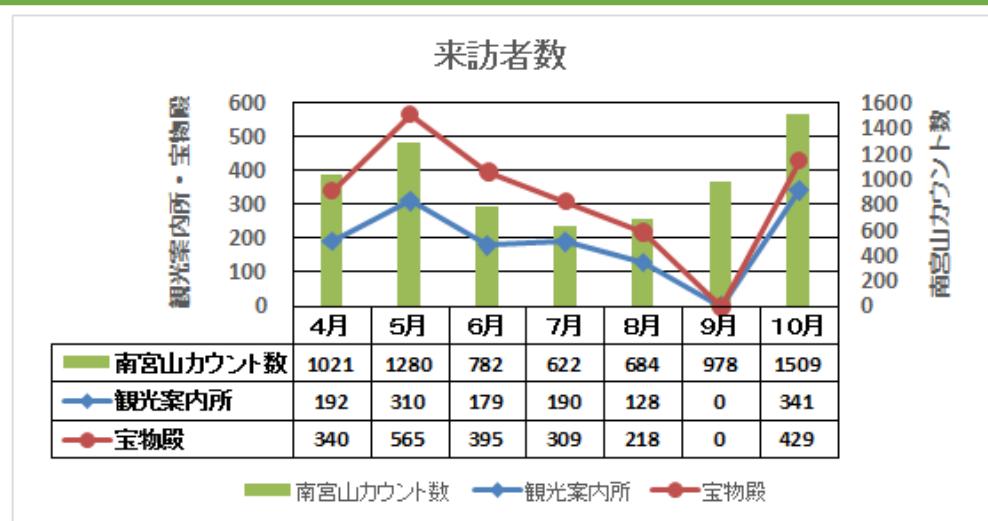
来訪者は西は大津・近江八幡、東は小田原・茨城県もあり垂井町内はもとより、以外にも宝物殿へは宮代地内の来訪者も多くあった。我々は、美濃一宮の南宮大社の歴史的文物、関ヶ原合戦関連の取り組みを主に、宮代地区の自然・歴史・文化の発信に使命を尽くそうと思う。南宮大社を核に町の活性化を!、賛同者の参加を是非望んでいます。



※観光案内所開所に伴い

観光案内所・宝物殿来訪者数 & 南宮山登頂者カウンター数 のデーターを採取しました。 その月別の結果は右図のとおりです。

(但し、8月27日～9月末まで案内所・宝物殿は閉所)



宮代の桜を愛するウォーキング大会【3月23日(火)9時～12時】開催

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」事務局

桜は日本の国花の一つとして世界的に知られ春の風物詩として親しまれています。ここ宮代にも多くの種類の桜が咲き誇ります。

早春の穏やかな日、「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」の仲間達19名で、**宮代の桜マップ**を手に【まちづくりセンター→宮代小川桜林→不破高→南宮大社→大慈寺→新池】などを巡る約1万歩のウォーキング大会を行いました。まだ桜の季節には早いようでしたが、写真の様に早咲きの桜を楽しむことができました。

又、南山の雨壺神へは200mの山登りとなりましたが、枯れることのない沼のいわれを聞き、根回り5mの山桜の巨木を見ました。



宮代の自然観察＆自然散策

①干之子ども「自然観察教室」

…木の上で暮らすモリアオガエルのたまごを見に行こう…

6月14日3年生28名の参加で、南宮西蛇池とハイキングコースを上った稻荷社の西の池にモリアオガエルのたまごを見に行きました。

西の池にて撮る（高橋弘美さん）

子ども達は、初めての観察でなかなか探すことはできませんでしたが、西蛇池では数個、西の池では10ヶ程度の卵塊を見つけることができました。

案内人の先生より、モリアオガエルは山から自分が生まれた池にやってきて産卵することや、その様子（左上写真）と生態、そしてイモリとの関係を勉強しました。

宮代地区は自然が豊かで川にはハヤ、ヨシノボリが泳ぎ、モリアオガエルの他、トノサマガエル・ツチガエル・アマガエル・ヒキガエル・ウシガエルの蛙があり、先生発声のモリアオガエルの鳴き声もありました。宮代の自然を勉強した半日となりました。



案内人：「愛する会」廣岡清隆会長

②宮代の自然散策（木の上で暮らすモリアオガエルの卵塊を見に行こう） 6月18日 16名参加



案内人の講師から、牛ヶ畠・南宮山北面には古墳群が展開しており、石器や土器が出土するなど、かつてこの地区が繁栄していたことの説明がありました。

又、モリアオガエルの探訪では、朝倉芝生公園西の池で100ヶ以上の卵塊を見て、朝倉ビオトープでは卵塊に触れました。

モリアオガエルの群生地として県の天然記念物に指定されている大谷池入口の長池でモリアオガエルの卵塊の産みつけと孵化後ここから水中に落ちて変態する習性を聞きました。



続いて不破高弓道場脇を通り笹石子谷を登り、いくつかの砂防ダムを見て、西蛇池へと歩きました。合計11000歩の散策となりました。

宮代の歴史と自然の豊かさを知るいい機会となりました。

芝生公園西の池

宮代歴史講座（南宮大社勉強会）に参加して 「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 事務局長 富田



8月5日に当会主催の「南宮大社歴史勉強会」（出席者25名）を行いました。宮代観光案内所の案内に携わる私たちが、南宮大社に関連する歴史・文化等を勉強し、これから

の案内に役立てようと願う自主研修です。南宮大社を座学と現地研修で深く学びました。

初めに南宮大社の存在背景等を上月宮司からお聞きしました。社齡2,700年には驚愕しました。創設は古く、初代天皇神武東征の時代にさかのぼると言われ、その頃には既に大きな集団勢力が在った歴史を学びました。なぜ「金」（鉄工・鍛冶屋）の神様が祀られたのかの根拠付けが、私には懸案事項になりました。

倭建命に伊吹山の賊退治の神話が在りますが、南宮大社の真後ろ延長線上に伊吹山山頂を望むこととの関係は？等興味が尽きません。いずれにしても、南宮大社の存在は宮代地区の自然・歴史・文化に重きものが在り、深く感謝するものです。

私たちは美濃一宮の、南宮大社を核にして宮代の“まち”の活性化に取組む事が重要だと思います。賛同の皆様、「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」へ、是非参加を希望します。

